

僕はこの話を聞いて、いろいろなことを学びました。

一つめは、いつおこるかわからないので、おじいちゃんを大切にする。

災害はいつおこるかわからないので、なにげない。

「いただきます」「おやすみ」「ただいま」「おはよう」を大切にしたい
と思いました。もう一つは、近所の人と仲良くしようと思
いました。もしおこった時に、あまりしゃべったり仲良くしたりしてな
かったら、助けたり、助けてもらったりしてもらえないです。

災害では、そのちょっとしたことが、「死ぬ」か「生き残る」かの
分かれ道だと思っています。

二つめは、地震(災害)をなにげないことです。

ある家族が地震が起きている時は、生き残り(全員)また
けと、おきている時にカスガも、両親と妹を失いました。

こんなことせ、体育館でかぜになりてく、てしまうことを、
関連死といいます。

僕は、この話を聞いて一番大切だと思ったのは、

「一つ一つの災害から学び、いかに早く伝える」ということ
だと思いました。この話を聞いてよかったです。

わたしは阪神淡路大震災のお話を
聞いて、「身近な人こそ大事に思う」という
ことが一番心に残りました。今までわた
しは身近な人が大事だとは思っていません
でした。たゞけど今回のお話を聞いて、家族
の時間をもっと大切に楽しく過ごすとう
気が変わりました。動画や写真もあつて
すごく分かりやすかったし、さらにこわくなり、震
災のために備えようという気持ちになりまし
た。

今日の、三好さんの阪神淡路大震災の話と聞いて、(ぼくは、三好さんの、
一番、伝えたいこと「大切な人を大切にね」と言える、わすれずに、いまだに、
人に友達に、家族に、おばあさんにやさしく、して、震災のときに、特に、思いやれ
たらいいなと思っています。いつ地震がおこるかわからないけど、地震が
おきたときは、おせらず、おちついて、行動し、家族のこと、自分のことも、命を大切に
にして、安んじ、安全が、一番いいけど、そうじゃないことも、多いから、
家族を、失った人、に、はげまして、あげたり、したいな、と思いました。
三好さんの、話のテーマを、意識し、次に、いかせると、役に立てると、思います。

三好さんのお話を聞いて神戸新聞、
とってもすごいんだなあ。と思い
ました。休かんだ日以外木曜日がない、と
とてもすごいと思いました。

新聞のスリッパの作り方を家族のみ
んなに伝えたいと思います。でも、
家に新聞がないので代用品を
さがしたいと思います。

ほくは今日の阪神・淡路大震災の事を知りて
みいかた人を大切に することを知り、こうと思い
ました。なぜなら三好さんの話の中に「おれらとい
てまちといふのがあつたからでももし大震災がこ
てみいかた人や大切な人について 大事なものを
失つてしまふに死んでしまつたら後かい 悔と思つたか
らです。阪神・淡路大震災のときの新聞社が全
がいて京都の新聞社と協力していたことを
はじめて 知りました。ほかにも阪神・淡路大震災の
かかあを はじめて 知りました。そしてこれからの人たち
に阪神・淡路大震災のことを 知ってほしいと思ひ
ました。

しらないのにこんな大震災があるんだ
なと思いました。

阪神淡路大震災もあるけどほかにも
たくさんの震災があるんだなと思い
こわくなりました。

三姉さんの話を聞いてこんなにつらくて
いたいおもいをしてやとおふう(こはし)い
て三姉さんはとてもうれしかたとい
いたから何週間も入れてはなかつたから
気持ちよくはいたとおもた。

阪神淡路各々震災でなくなった人が神
戸で4564人でびくりにして西宮で168くりに
あし屋で438人明石で11人本州で2人尾崎
で4人でこの市に被害があつて想どうも
しなかつたからおどろいた。

しかも6市の中で一番ひどかつた神戸
がしんど7.0で兵庫一番だつたかもし
れないし、高知では津なみか134m
までいくとおしつぷりされるをはるか
にこえビル3階半ぐさまで津なみ
がくるとおしつぷりたえられなくなる。
すごく大きなゆれをドラマで見たから
もう二度きてほしくないと話 をき

いてい（おもいました。せうたいこ
ない、てわけでもないけれど今日
聞いた話では、たいへんなことになった
んだ、ときいていて心の中でもおもいま
した。

神戸新聞はせいかな情報をとどけてみていない人がいるかもしれないから同じ情報をよくいつもとどけることを知りました。

じいさんが起った時神戸新聞がつかれないと京都新聞のつくってもらったり協力な一面もあるんですね！

自分が一番おどろいたのはいいで死ななくてもみんな

じゃで体どうかがゆるくてせくなってしまうと

いふとです。そしてじいさんから30年たってもわすれず「おたけく」とおもいます。

ほくはこのお話を聞いて
「今を大切にしようと思いました。」

いつあんなことがおこるかはわか
らないのだけれど、いかいそなえて
かそくにもめはなしをしよう
と思いました。

阪神淡路大震災のお話を聞いて、
みじかな人を大切にする、
ふだんから近所の人と仲良くして
おくということも三姉さんが教えて
くれた言葉が1番心に残りました。
なので、今よりももっと家族や友
達、近所の人を大切にして、仲良く
していきたいです。

あと、しょうてんかいの9割が"もえた"
というのにもびっくりしました。

三好さんのお話を聞いて、当時の新聞社の
の状況や、実際の阪神大震災の被害や経緯
も教わりました。一酸化炭素中毒、自衛隊派けんの
おかし(社会党)などにより、たくさんの方が
なくなりました。亡くなった遺族に寄り添う神
々しい中では、

新聞は本当に素晴らしいと感じます、阪神
大震災以外にも、のど半島地震、かん東大
震災などの教訓を得て、できるだけ被害を
減らすことが今生きる我々の「使命である
ことを改めて実感しました。ぜひとも今日の
話を家族に伝え、日々の防災意識を
高める必要があると思います。今日はありがとうございました。

阪神・淡路大震災はとしてもこわくてつらい。
不安があるなか新聞者の方々は一しゅけんめい
に新聞を作それを伝えたいのたなと思ひまし
た。

1.17をもとにしたえいかかとてもきょうみがわ
いてきて今度家族のみとなでみて震災の
おそろしさを学び、たいさくなどをねり、ひな
ん所へのルートも確認したと思ひます。
近じの方とも仲を深めておたがり助け合ひ生
きたと思ひます。

わすれないことが大事

高橋道平はたおれなと言われてい

たけれど、力にたおれたから人が

言ったじゃあ、ほうをたよるんじやなくて

新聞をしんじる。新聞記者になると有

名人に会えるから、ちよとなりたいとなった

三好さんの話を聞いて一番心に残ったことは「身近な人を大切にすることです。」「学校交に行っているときに、地震が起きる、はなればなれにな、てしまうかもしれない」ということをきいたので、家族とケンカしてもすぐに仲直りしたいと思いました。

次に心に残ったことは近所の人とのコミュニケーションを大事にするということです。もし、地震がおきて、知っている人だ、たら助けることができるんだなとおどろきました。

身近な人とのつながりが大切だということが知れました。

阪神・淡路大震災のひきさ(被害)が良くわかりました。

私は、人が死んでしまったのは、地震が起こってしまった時だけだと思っていました。だけど、起こった後毒などで死んでしまった人がいることにおどろきました。

スリッパの作り方を覚えて、実際におこってしまった時、使うことができるようにしたいと思いました。

もう二度とこんな事が起こってほしくないです。そして、被害を減らすことができるように努力したいです。

わたしは今日三好さんにお話を
きいて、みじかさんを大切にすることがとっ
ても大切なことだなと思いました。たしか
に震災だけじゃなく、いしん者とかきたと
きもやくにたちそう... 今からでも、仲よく
していきたいと思いました。震災で家ごとで
一人ぼっちになってしまふという所では、いし
んではすごくこわいなあと思った。た
が、やはりこの震災のことをわすれないわすれたく
ないと思った。

わたしは三好さんのお話を聞いて、次の世代の
人たちにつたえていこうと思い
ました。阪神淡路大震災のお話を聞いて、
新聞をいんたつしている中、~~安~~じ~~安~~全のしょうほう
をこどけると言っていて、わたしもたしかに、
ひなんしている中、~~安~~じ~~安~~全のしょうほうをもつう
てよかったと思えたさが、~~ず~~かたで、~~あ~~とくにびく
りしたのが、死者6434人のうち、4564人が神
戸市だったことでした。わたしはこのお話をとおし
て、さいかいには、おきてしまふことだから、自分
でも、そなえようと思いました。